

【クルーズ船の寄港実績と次年度の方向性】

平成31年・令和元年度 実績

日付	クルーズ船名	寄港した港・人数	トン数
① 4月26日	カレドニアン スカイ	小木港・54名 (着岸)	4,280t
② 4月28日	カレドニアン スカイ	小木港・110名 (着岸)	4,280t
③ 5月1日	につぽん丸	小木港・400名 (着岸)	22,472t
④ 5月12日	ばしふいっく びいなす	小木港・354名 (着岸)	26,518t
⑤ 5月17日	カレドニアン スカイ	小木港・98名 (着岸)	4,280t
⑥ 5月24日	シルバーエク スプローラー	小木港・115名 (着岸)	6,130t
⑦ 6月9日	ル・ソレアル	小木港・199名 (沖停泊)	10,700t
⑧ 6月11日	シルバーエク スプローラー	小木港・133名 (着岸)	6,130t
⑨ 8月29日	飛鳥Ⅱ	両津港・780名 (沖停泊)	50,142t
⑩ 9月18日	につぽん丸	小木港・320名 (着岸)	22,472t
⑪ 11月7日	ばしふいっく びいなす	小木港・335名 (着岸)	26,518t

令和元年度 セールス活動

日付	方面	船社・ランドオペレーター・チャーター ラ訪問先
①9月19日 ②11月25～26日	①関西 ②首都圏	①日本クルーズ客船 ②商船三井客船 JTBGMT デスティネーション・アジア・ジャパン クルーズポート・ナビゲーション

実績及び次年度の方向性

- ・過去最多の11回の寄港、乗船客数も2,898人で最多
- ・日本船寄港時は、バス・タクシーが不足し、タクシーについては、お客様を待たせる事例もあったため、交通事業者による「交通部会(仮)」を開催し、事前調整を行う。
- ・「につぽん丸」「ばしふいっくびいなす」において、船内見学を実施。5/1(メディア・関係者30名)、5/12(関係者20名、公募80名)、9/18(公募40名)、11/7(関係者20名、公募40名) いずれも定員を超える応募があったため、来年度以降も引き続き計画し、サポーターの増員につなげる。
- ・クルーズ船寄港に伴う経済効果は20,649,723円であり、その内、岸壁での物産販売(記念切手、授産品、無名異焼、棚田米、竹細工、日本酒、魚の生ハム、コンポートなど)について、1,737,763円と予想以上の売上げがあり、引き続き実施する。外国人への対応の際に会話に苦慮する場面があり、来年度は外国船の寄港が多いことから、通訳の方を手配し英語対応を行い販売促進を図る。また、クレジットカードが利用出来るように、出店事業者へキャッシュレス対応を呼びかける。
- ・セールス活動について、9月に関西(市1名)、11月に首都圏(連携会議4名)で実施。来年度についても、誘致連携会議のメンバーで行い、旅費については半額補助を予定。外国船では、まだ佐渡へ寄港していない2万トンクラスの船をターゲットにセールスを行う。日本船については、世界遺産の国内推薦発表後にセールスを行う。